



2020 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第 5 戦: 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市) レース報告書

予選: 12 月 5 日 (土)

天候	晴れ
観客動員数	8,000 人
成績	牧野 任祐 選手 (#64): 5 位 大湯 都史樹 選手 (#65): 7 位

決勝: 12 月 5 日 (土)

天候	晴れ
観客動員数	8,000 人
成績	牧野 任祐 選手 (#64): リタイア 大湯 都史樹 選手 (#65): 8 位

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、大幅なスケジュール変更を余儀なくされた 2020 シーズン。

今大会は、土曜日に第 5 戦 (予選・決勝)、日曜日に第 6 戦 (予選・決勝) がそれぞれワンデーで開催されます。

また、今大会から走行安全性を確保するため、燃焼方式による加熱器でのタイヤの加温が認められました。

<公式予選>

まずは第 5 戦の公式予選。牧野任祐選手 (64 号車) は、Q1 を 5 番手、Q2 を 3 番手で、大湯都史樹選手 (65 号車) は Q1 を 3 番手、Q2 を 6 番手で通過し、ともに Q3 進出を果たします。

Q3 では 2 セットのタイヤを駆使し、牧野選手は 1 分 35 秒 185 で 5 番手、大湯選手は 1 分 35 秒 118 で 7 番手でそれぞれ決勝グリッドが確定しました。

<決勝レース>

決勝レースは 2 周のフォーメーションラップのあと、さらに 2 周が追加されることになり、レース距離は 2 周減算の 28 周回で行なわれることになりました。

5 番グリッドからスタートを切った牧野選手は、2 コーナーで接触された影響でマシンの挙動が乱れクラッシュ、オープニングラップでレースを終えることになりました。

一方、7 番グリッドからスタートした大湯選手は、スタート直後のセーフティーカーランの解除後は 4 番手を走行していきます。10 周目の終わりにピットイン、タイヤ交換後にコースに復帰します。その後は 16 番手までポジションを下げますが、少しずつポジションを回復。アクシデントが多発し荒れたレースを走り切り、8 位でフィニッシュ、3 ポイントを獲得しました。

<コメント>

中嶋 悟 総監督:

「予選の結果がよかったので、期待も大きかっただけに、ショッキングな結果です。明日は、気持ちを切り替えて臨むしかありません」

牧野 任祐 選手:

「予選のアタックではミスもなく、うまく決まったと思ってピットに戻りましたが、トップの山本尚貴選手(Docomo Team Dandelion Racing)とのタイムには大きいギャップがあったので、明日(第6戦)に向けて、どこをどのように改善すべきか、しっかり分析します。決勝では、第2コーナーでの接触でホイールが割れ、パンクしてしまいました。今日は残念なレースになったので、明日はその分も頑張ります」

大湯 都史樹 選手:

「昨日の練習で十分なアタックシミュレーションができなかった状況で Q3 まで残り、パフォーマンスを發揮できた部分はよかったと思います。しかし、決勝では、序盤でチームメイトのマシンに接触してしまい、牧野選手にもチームにも申し訳なく思っています。決勝レースでは、集団の中で走っていたのでペースを上げられず、苦しかった。ピットストップも長くなり、さらに順位を下げてしまいましたが、明日は改善できると思っています。今日は自分らしいレースができなかったので、明日は自分らしく、皆さまに攻めの走りをお見せできるよう頑張ります」

以上